

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2014
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.106, (2014. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01060001--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目次

- 1 「思想惑乱の時代」と泉鏡花——「瓔珞品」から「春昼」へ—— 富永真樹
23 鎌倉期における『文鳳抄』『擲金抄』の享受 大木美乃
-

75 彙報

2013 年度慶應義塾大学藝文学会シンポジウム

京劇と日本——梅蘭芳を中心に

- 86 那宅花園における梅蘭芳と大倉喜八郎の邂逅
——1919 年梅蘭芳帝国劇場公演の起点と『天女散花』 平林宣和
100 京劇・梅蘭芳と日本——三度の訪日公演の背景とその目的—— 袁英明
109 中国演劇史上の京劇 岡晴夫
117 日本における京劇 山下輝彦
128 シンポジウム報告

2013 年度慶應義塾大学藝文学会シンポジウム

——ポスト悲劇の悲劇

- 147 開かれの悲劇——アガンベン、ナンシー、日本の身体演劇を手掛かりに
平田栄一朗
157 『アンティゴネー』上演における政治、身体、言語との極限的経験
エレーネ・ヴァロプルー
167 ポストドラマの悲劇 ハンス=ティース・レーマン
169 報告

- 192 中世末期日本語の〈語〉と〈語〉表記
——『天草版平家物語』前半の分かち書きから—— 屋名池誠
- 208 理想の姿をとり戻すとき——池莉のメロドラマ的世界—— 吉川龍生
- 226 戦後期における岩下俊作「富島松五郎伝」の改編をめぐる 杉野元子
- 241 『御製滿漢蒙古西番合璧大藏全咒』にみられる真言陀羅尼についての
一考察——滿漢対音表記による不動明王真言と漢訳仏典表記
「慈救呪」を中心として—— 大野広之
- 258 アニー・エルノーの非個人的自伝——*Les Années*における人称をめぐる
諸問題—— 森千夏
- 276 「意味がない？ 正体を現すというこの言葉が？」——ジャン・ジロドゥ
における«*La déclaration*» ブランクール・ヴァンサン
- 295 シャルル・ボードレールの散文詩2篇：
「貧乏人のおもちゃ」と「貧者の目」 宮林寛
- 315 パラドックスの演技論——ジェローム・ベル +Theater HORA
『*Disabled Theater*』上演分析 寺尾恵仁
- 331 「中断」そして「ディオニュソスのなもの」としてのリズム——
劇団「地点」による上演作品『トカトントンと』について 三宅舞
- 347 受容史的視点から観たゴットフリート『トリスタン』の「ミンネ」の
特異性 中林練
- 364 「東洋の写本」——「独身男の樂園と乙女たちの地獄」に見る
メルヴィルのセクシュアリティについて 田ノ口正悟
- 380 チョーサーの「第二修道女の話」をめぐる語り手と聞き手の自己形成
工藤義信